



あじさい参道の
アジサイ

ヤマユリは分布上では、関西地方には少ないそうです。万葉集に出てくるユリの花は主にオニユリとササユリなどでヤマユリはほとんど出てこない、と言われています。日本の中心が西にあった頃、近辺の山地には少ないのですから、うたわれないのも当然ですね。それでは、いつ頃からヤマユリの名が知られてきたのでしょうか？明治維新で都が江戸（東京）に移ってからという、歴史の裏話でした。

※この欄は、あかね書房刊『牧野富太郎植物記3』を参考にしました。



ヤボウカ



カガニ



ドクダミ



鳥に見えますか？

今、ふれあいの村では・・・

雨の日にサワガニが、どこからか村にやってきました。◆
広場に咲くヤマボウシはそろそろ花の終わりを迎えます◆
雨の中、存在感のある白い花を持つドクダミです◆このふ
たつの花には共通点があります。実は、白い花弁に見える
部分は、総苞と呼ばれ、その中にある棒状の花序に小花が
密生しています◆炊事場近くを歩いていると、可愛いお客
様から「いいものがあるから見て」とお誘いがありました。
鳥の形をした小石でしたが、その観察眼に驚かされました。

☆来月のファミリーコミュニケーションデー：8月6日（日）

10:00～12:00《自然観察会》蝉しぐれ。セミの抜け殻さがし
クズに集まる昆虫。そしてトンボ（無料）

13:00～15:00《チョーク絵講座》「夏の季節を描く」（材料費等：250円）

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。

※申込み・問合せは電話などで、お気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村（南足柄市広町1507）

指定管理者：足柄グリーンサービス・関東学院グループ

所管課：神奈川県教育委員会教育局支援部

子ども教育支援課

電話：0465-72-2010 FAX:0465-72-2013

URL: <http://www.ashigara-fureai.com/>



村でくらししている
 さんたろうとなかま
 たちは、きょうは
 ふれあいひろばであ
 ろんでいました。
 ふとみると、そば
 にあるはすいごうの
 うえのほうに、なに
 かがとまっているのが
 みえました。みんな
 でそばにいくと、ア
 サギマダラがいました。
 にねんくらい前まで、
 まいとし村でとんでい
 ましたが、ひさしぶ
 りにきてくれたよう
 です。ところが、ド
 アからたてものの中
 にはいり、みぞにはま
 てでられなくなっ
 てしまいました。やさ
 いしょくいんさんがた
 すけてくれ、さとう
 みずをもらいました。
 げんきになってから、
 空にとびたちました。
 「またきてね」みなで
 みおくりました。

★フィールドワーク★

自然の生活とは？

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。



クリのイガ

くりのき村でイガ(毬)に包まれたクリを見つけました。このトゲのようなイガは何のために付いているのでしょうか？「動物に食べられないように…」少し思い出していただくと、クリは熟しておいくなる時期に割れて落下します。ですから、おいしくない頃に痛い思いをしなくても、自然に割れるのを待った方が効率的です。クリを食べる時に苦勞しておいたのに、虫を見つけ残念な思いをした経験はありませんか。あの白い虫の正体はクリシギゾウムシの幼虫だそうです。今頃のまだ青いクリのうちに、イガと中にあるクリの実に侵入し卵が産みつけられます。人間がさわっても痛いイガですが、この虫は強力なガードを簡単にかいくぐり、中に侵入することが出来るようです。でも、もしクリにこのイガが無かったら、もっと多くの虫が入り込んでしまうかもしれません。

なにげない植物の形や造りには、必ず意味のあることをクリのイガが教えてくれました。



イロハモミジのヘリコプター



ヒメコウソ 果実



オニシバリ



ツバキ



大きなキノコ (直径2.5cm位)



ヤマボウシ